

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001500
事業所名	グループホーム 名古屋中川の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 半数以上の利用者(10名)が車いすを使用しており、地域への外出には大きなハンディとなっているが、積極的に外出支援をしている。お正月には、何回にも分かれて利用者全員が地域の神社に初詣に出かけている。 地域の祭りでは神輿がホームまで練って来たり、クリスマスの時期には近所の保育所の子どもや中学生のボランティアがプレゼントを届けに来たりしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 年間6回の運営推進会議が開催されているが、参加者を増やそうとの取り組みから、ホーム行事を同時開催する試みがある。 会議と同時開催の“流しそうめん”や“クリスマス会”には、近所の保育所から職員5～6名に引率されて可愛い子どもたちが大勢やってくる。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 運営推進会議にはいきいき支援センター(地域包括支援センター)の職員が参加し、行政との情報の橋渡しをしている。 9名の生活保護受給者の入居があり、状況把握のために毎年2回程度、区の保護係の担当者の訪問がある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 日々の来訪時、運営推進会議やホームイベントへの参加時等の機会をとらえ、管理者・職員が家族の意見や要望を聞き取っている。 家族の来訪時には、「いつも寝てばかり」であるが、写真や職員の話から、「しっかり座っている。行事に参加している」ことが確認でき、感謝の言葉を口にされた家族がいる。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	×	○	○	○	○	○	◎		